

## 平成 30 年度 中部圏域障がい者地域自立支援協議会 第 4 回運営会議録

日時 平成 30 年 8 月 31 日 (金) 13:30~15:30

場所 中部障がい者地域生活支援センター会議室

参加者 5 名 但馬 (北栄町) 丸本 (琴浦町) 米増 (湯梨浜町)  
酒井、森 (倉吉市) 佐々木 (三朝町)  
事務局 河本、高島 (進行・記録)

### 1 報告事項

#### ○ 各市町部会・課題別部会より

- ・湯梨浜町 — 公共施設のバリアフリー化について、当事者・他団体にも確認してもらい、対策を立てる取り組みを行う予定である。
- ・北栄町 — 10 月に 2 回目の協議会を開催予定。今年度は以下の 4 つのテーマに取り組む。
  - ①理解・啓発 … 町報 (4~9 月号) に福祉サービス事業所と障がい団体の紹介を掲載。  
PTA を対象にあいサポート研修を開催した。
  - ②雇用 … 企業面接会への協力。
  - ③権利擁護 … TCC ケーブルテレビで番組を作成。8 月 22 日に放映した。
  - ④防災 … 障がい者のための避難・防災マニュアルの見直しを検討する。
- ・琴浦町 — 8 月 24 日に、自立支援協議会を実施した。JR 駅構内の電光掲示の設置状況、ハートフル駐車場の掲示方法の変更について報告した。  
また、福祉サービス提供事業所の活動内容について協議した。
- ・倉吉市 — 7 月 19 日に、自立支援協議会を実施した。12 月に行われる、あいサポートフェスタへの参加について協議した。倉吉市の協議会では防災についての取り組みを行っており、ブースを設けてその活動報告を行う。また可能であれば非常食の試食も行う。  
防災については、他町自立支援協議会も活動を行っているので、もし可能であれば一緒に参加していただきたい。  
但馬委員) 出来るだけ協議会として協力したい。参加要項を作成されていれば、次回確認させていただきます。
- ・三朝町—自立支援協議会実施について、現在会長と日程調整中である。
- ・ホームヘルプサービス事業所連絡会 — 日程が合わず、開催延期となっている。
- ・就労移行支援事業所連絡会 — 8 月に各事業所とも養護学校からの直 B アセスメントが終了した。  
9 月 19 日に反省会を行う。
- ・あいサポートフェスタ実行委員会 — ステージ発表、屋内イベント、ワークショップの係りに分かれて準備を進めている。  
ステージ発表については昨年とほぼ変わらない出演者で調整中である。今年度は地域の小学校が

ら参加していただくよう調整している。

屋内イベントについては、ラリーを行う。電動車イス、手話、介護用品レク体験等を計画している。

ワークショップについては、外部よりバルーンアート、鳥取大学おもしろ実験室。委員で点字カード作成、健康チェックを実施予定である。

・相談支援事業所連絡会

6月には皆成学園との意見交換会を行った。皆生学園、相談員から積極的な意見が出て有意義な意見交換会となった。

やはり、学園と事業所間の情報共有及び、相談支援の介入するタイミングが重要であることを再確認し、今後情報交換をする機会を作ることを検討されることとなった。

7月にはケース検討会を実施した。昨年度より事業を開始された2事業所より事例を提出していただき、検討を行った。1人事業所でされており、なかなか他の相談支援専門員の意見を聞くことのなく、参考になったと意見があった。

今後は、保護観察所の講義、保護師との意見交換会を計画している。

○交通弱者 交通安全講習会について

9月11日(火)13時半より、大栄健康増進センターで実施することが決定した。

参加対象は、湯梨浜町・琴浦町社協利用者及び、北栄町内の就労支援事業所利用者としている。取りまとめの案内を出しているのので、提出していただきたい。

トラック協会の方も、障がいがある方への交通安全講習会実施のノウハウを身に付け、少しずつ規模を大きくしたいと話されていた。

○全体研修について

10月4日(木)13時より、倉吉交流プラザ 視聴覚ホールで実施することが決定した。

鳥取盲学校の先生より、障がいについての紹介、鳥取盲学校の活動、視覚障がいのある方への支援方法及び、関係機関との連携、体験、器具体験を実施していただく。

また、当事者の方からのお話をしていただく。

対象者は、協議会委員、当事者、サービス提供事業所職員としている。案内、チラシが完成次第、各市町担当者からも案内をお願いしたい。

但馬委員)サービス提供事業所のサービス管理責任者宛てに案内を出すと多くの方が参加されるかもしれない。

## 2 協議事項

○鳥取県障がい者自立支援協議会より

・医療的ケアを要する障がい児者支援部会

酒井委員が出席され、報告。

鳥取県内の現状と対象者、支援事業の報告があった。オブザーバーからは具体的な課題、事例が提供された。

結果として、どのケースについても、圏域で関われる問題ではなく、県として制度を検討するよ

うな内容であった。今後県より対応が報告される予定である。

倉吉市子ども家庭課 森氏) 鳥取県障がい者プランでは平成30年度中に『医療的ケアを要する障がい児支援のための関係機関の協議の場の設置』を行う必要がある。各市町担当者の意見をもち寄り、次回の運営会議にて方針を決めたい。

・相談支援体制部会

酒井委員・高島委員が出席され、報告。

圏域ごとの相談支援事業所における計画作成に関わる状況の説明があった。

報酬改定により、モニタリング回数が増えること、相談員の業務量が多くなることは共通認識としてあり、米子市より、モニタリング数の見通しが発表された。

今後、各圏域でも見通しを立てて対応を考えていただきたいとのことだった。

高島) 相談支援事業所連絡会では今後、ワーキンググループを立ち上げ、モニタリング頻度の見通しを立て、運営会議にて対策検討を協議事項として提出予定である。

○ 中部圏域自立支援協議会の活動方針について

現在の中部圏域自立支援協議会の活動は例年の活動に変わりなく行っているのが現状である。

目標もなければ、結果もなく活動方針が定まっていな部分もある。

例えばだが、各市町では障がい福祉計画を作成されており、その内容をすり合わせ、同じことを目標としているのならば、中部圏域自立支援協議会の目標をそこに合わせて活動することができ、結果もある程度返すことが出来る。

但馬委員) 以前からそのような意見があった。早急に目標設定を行うことが必要だと考える。次回の運営会議の議題として検討する。

3 その他

○ 協議会委員さまのご意見より

全体会で、中部圏域自立支援協議会委員としてのありかたについてご意見をいただいた。

内容については、少人数での意見交換会を行いたいとのことであった。

委員として選出されたからには、何か活動したいと考えられる方もある。

どのような形で、協議会の活動に参加していただくのが良いか？

酒井委員) 啓発を目的として実施しているあいサポートフェスタへ、活動報告など何らかのかたちで参加していただくのはどうか？ それも1つの方法である。

次回の検討事項とする。

次回の運営会議予定 …

日時：平成30年9月最終週 13:30～15:30

場所：中部障がい者地域生活支援センター会議室